

## 企画展 うるわしの古筆

2024年1月4日(木)～1月28日(日)

主催：徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・毎日新聞社

古筆とは古人の書という意味ですが、狭義には平安、鎌倉時代の貴族が認めた歌集などを指します。これらは室町時代後期には、一頁ごと、あるいは数行ごとに分割切断され、茶の湯で床を飾る掛軸や収集・鑑賞のために手鑑へと改装されました。特に、貴族趣味を反映し、美しい料紙に書かれた流麗な古筆は、江戸時代の大家でもこぞって収集されました。

徳川美術館は「重之集」、「名家家集切」といった尾張徳川家に伝わった平安時代の古筆から、近年寄贈を受けた「石山切」や「関戸本古今和歌集切」など、名だたる古筆を多く収蔵しています。本展ではこれら古筆の名品に加え、本年度新たにご寄贈いただきました故・勅使河原順三・千代子両氏旧蔵の古筆コレクション20点全点を初公開します。

- ・都合により出品作品が変更になる場合がございます。
- ・展示リストの順番は陳列の順番と必ずしも一致しません。
- ・指定欄の「◎」は重要文化財、「○」は重要美術品です。
- ・所蔵者欄が空欄の作品は、徳川美術館所蔵です。

No.	指定 作品名・作者	所用者・伝来など	時代・世紀	所蔵者
<b>1. 「かな」の美 11世紀の古筆</b>				
1	継色紙 「おほそらの」(「鳳凰台」所収) 伝小野道風筆	岡谷家寄贈	平安 10-11	
2	関戸本古今和歌集切 「みわたせは」 伝藤原行成筆		平安 11	個人蔵
3	○ 関戸本古今和歌集切 「こゝろかへ」 伝藤原行成筆	加賀前田家・関戸家伝来 岡谷家寄贈	平安 11	
4	◎ 重之集 伝藤原行成筆		平安 11	
5	升色紙 深養父集「さよふけて」 伝藤原行成筆		平安 11	個人蔵
6	高野切 古今和歌集 「ちりをたに」(「鳳凰台」所収) 伝紀貫之筆	岡谷家寄贈	平安 11	
7	名家家集切 兼輔集 「あしひきの」 伝紀貫之筆		平安 11	
8	如意宝集切 「おほかたは」(「霜のふり葉」所収) 伝源俊頼筆		平安 11	
9	永承五年前麗景殿女御歌合(十巻本歌合) 伝西行筆		平安 11	個人蔵
10	寛和二年七月七日皇后宮詮子瞿麦合切 「ちきりけむ」(十巻本歌合) 伝宗尊親王筆		平安 11	個人蔵
11	伊予切 和漢朗詠集 「柳」 伝藤原行成筆		平安 11	個人蔵
12	伊予切 和漢朗詠集 「仙家」 伝藤原行成筆	勅使河原順三・千代子氏寄贈	平安 11	
13	敦忠集切 「いひたれは」(「霜のふり葉」所収) 伝紀貫之筆		平安 11	
14	亀山切 古今和歌集 「みわたせは」(「鳳凰台」所収) 伝紀貫之筆	岡谷家寄贈	平安 11	
15	○ 猿丸集切 「かけといふ」 伝藤原行成筆	岡谷家寄贈	平安 11	
16	○ 香紙切 麗花集切 「たよりあらば」 伝藤原佐理筆	岡谷家寄贈	平安 11	
17	有栖川切 元暦校本万葉集 「みやこちを」 伝宗尊親王筆		平安 11	個人蔵
18	元暦校本万葉集切 「さとひとも」(「鳳凰台」所収) 伝宗尊親王筆	岡谷家寄贈	平安 11	
19	藍紙本万葉集切 「こふといふ」(「鳳凰台」所収) 藤原伊房筆	岡谷家寄贈	平安 11	
20	和泉式部続集切 「はかなしと」 伝藤原行成筆	岡谷家寄贈	平安 11	
21	和泉式部続集切 「よひのまを」(「鳳凰台」所収) 伝藤原行成筆	岡谷家寄贈	平安 11	
22	高光集切 「むかしより」(「鳳凰台」所収) 伝源俊頼筆	岡谷家寄贈	平安 12	
23	高光集切 「春たちて」(「鳳凰台」所収) 伝源俊頼筆	岡谷家寄贈	平安 12	
24	興風集切 「むつましく」 伝源俊頼筆	岡谷家寄贈	平安 11	
25	伊丹切 寛平御時后宮歌合 「みつのおもに」(二十巻本類聚歌合) 伝藤原俊忠筆	勅使河原順三・千代子氏寄贈	平安 11-12	
26	柏木切 応和二年五月四日庚申内裏歌合 「ほとゝきす」 (二十巻本類聚歌合) 伝藤原忠家筆	勅使河原順三・千代子氏寄贈	平安 11-12	
27	柏木切 祿子内親王歌合 「いつしかと」 (二十巻本類聚歌合「鳳凰台」所収) 伝藤原忠家筆	岡谷家寄贈	平安 11-12	

No.	指定 作品名・作者	所用者・伝来など	時代・世紀	所蔵者
28	二条切 承保二年内裏歌合「をくらやま」 (二十巻本類聚歌合「鳳凰台」所収) 伝藤原俊忠筆	岡谷家寄贈	平安 11-12	
29	多賀切 和漢朗詠集「秋きぬと」(「鳳凰台」所収) 藤原基俊筆	岡谷家寄贈	平安 12	
30	唐紙拾遺抄切「つねよりも」(「鳳凰台」所収) 伝藤原公任筆	岡谷家寄贈	平安 12	
参考	絹地切(「鳳凰台」所収) 伝藤原佐理筆	岡谷家寄贈	平安 11	
参考	丹後切 和漢朗詠集「栄啓期之歌三楽」(「鳳凰台」所収) 伝尊良親王筆	岡谷家寄贈	鎌倉 13	
参考	内裏切 古今和歌集「こゑをたに」(「鳳凰台」所収) 伝藤原清輔筆	岡谷家寄贈	平安-鎌倉 12-13	
参考	装飾経切 法華経 卷二 譬喩品第三(「鳳凰台」所収) 伝大和守兼行筆	岡谷家寄贈	鎌倉 13	
参考	鶉切 古今和歌集「秋風に」(「鳳凰台」所収) 伝藤原顕輔筆	岡谷家寄贈	鎌倉 13	
参考	経切 法華経 卷一 方便品第二(「霜のふり葉」所収) 伝小野道風筆		平安 12	
参考	新古今和歌集切「けふはいとと」(「霜のふり葉」所収) 伝藤原家隆筆		鎌倉 13	

## 2. 世尊寺流

31	藍紙本万葉集切「てるつきを」 藤原伊房筆		平安 11	個人蔵
32	和歌色紙「つゝめとも」 藤原伊房筆		平安 11	
33	筋切 古今和歌集「きみかため」 藤原定実筆		平安 12	個人蔵
34	通切 古今和歌集「飽さりし」 藤原定実筆	勅使河原順三・千代子氏寄贈	平安 12	
35	○石山切 貫之集下「おもひあまり」 藤原定信筆	高松家寄贈	平安 天永3年<1112>頃	
36	○石山切 貫之集下「うくひすの」 藤原定信筆	岡谷家寄贈	平安 天永3年<1112>頃	
37	○石山切 貫之集下「ことしけき」 藤原定信筆	勅使河原順三・千代子氏寄贈	平安 天永3年<1112>頃	
38	○石山切 伊勢集「寛平みかとの」 伝藤原公任筆	岡谷家寄贈	平安 天永3年<1112>頃	
39	戊辰切 和漢朗詠集「菊」 藤原伊行筆	勅使河原順三・千代子氏寄贈	平安 12	
40	戊辰切 和漢朗詠集「帰雁」 藤原伊行筆	勅使河原順三・千代子氏寄贈	平安 12	
41	戊辰切 和漢朗詠集「初冬」 藤原伊行筆	勅使河原順三・千代子氏寄贈	平安 12	
42	戊辰切 和漢朗詠集「遊女」 藤原定信筆	岡谷家寄贈	平安 12	
43	新古今和歌集切「たのめきし」(「藁叢」人所収) 伝世尊寺定成筆	岡谷家寄贈	鎌倉 13-14	
44	拾遺和歌集切「法華経を」(「藁叢」人所収) 伝世尊寺行尹筆	岡谷家寄贈	鎌倉-南北朝 14	
45	新古今和歌集切「よそにのみ」(「藁叢」人所収) 伝世尊寺行尹筆	岡谷家寄贈	南北朝 14	

## 3. 多様化するかなの美 12~13世紀の古筆

46	御蔵切 元真集「君をたに」(「玉海」所収) 伝小大君筆		平安 11-12	
47	中院切 後拾遺和歌集「しらくもの」(「玉海」所収) 伝藤原定頼筆		平安 12	
48	多賀切 和漢朗詠集「神なひの」(「玉海」所収) 伝藤原基俊筆		平安 永久4年<1116>	
49	胡粉地切 後撰和歌集「かすしらす」(「玉海」所収) 伝寂蓮筆		平安 12	
50	今城切 古今和歌集「なとりかは」(「藁叢」天所収) 藤原教長筆	岡谷家寄贈	平安 治承元年<1177>	
51	日野切 千載和歌集「人しれす」(「藁叢」天所収) 藤原俊成筆	岡谷家寄贈	平安 12	
52	昭和切 古今和歌集「としのうちに」 藤原俊成筆	勅使河原順三・千代子氏寄贈	平安 12	
53	補任切 公卿補任「天治三年」(「玉海」所収) 伝藤原俊成筆		平安 12	
54	御家切 古今和歌集「いまはこし」(「玉海」所収) 伝藤原俊成筆		平安 12	
55	唐紙拾遺和歌集切「東路の」 伝源俊頼筆	勅使河原順三・千代子氏寄贈	平安-鎌倉 12-13	
56	逸名歌集 伝寂蓮筆		鎌倉 12-13	
57	右衛門切本 古今和歌集 卷第十九 伝寂蓮筆	岡谷家寄贈	平安-鎌倉 12-13	
58	歌切「霞」(「玉海」所収) 伝寂蓮筆		鎌倉 13	
59	◎ 藤原定家自筆書状「山門状」	徳川義直(尾張家初代)所用	鎌倉 建保6年<1218>	
60	石清水行幸次第 藤原定家筆		鎌倉 13	

No.	指定 作品名・作者	所用者・伝来など	時代・世紀	所蔵者
61	基俊集・登蓮集 伝藤原定家筆	成瀬正虎(犬山成瀬家2代)遺物・徳川光友(尾張家2代)所用	鎌倉 13	
62	記録切(「藁叢」天所収) 伝藤原定家筆	岡谷家寄贈	鎌倉 13	
63	長秋記切(「玉海」所収) 伝藤原定家筆		鎌倉 13	
64	紹巴切 後撰和歌集 「忘草」(「玉海」所収) 伝藤原定家筆		鎌倉 13	
65	八代抄 卷第十八 伝藤原為家筆		鎌倉 13	
66	古今和歌集 伝定為法印筆		鎌倉 13-14	
67	藤原定家和歌色紙 「大井川行幸」	勅使河原順三・千代子氏寄贈	鎌倉 13	
68	春日切 実頼集 「ひにちたひ」(「玉海」所収) 伝平業兼筆		鎌倉 13	
69	後拾遺和歌集切 「いそくゝる」 伝藤原良経筆		鎌倉 13	
70	法華経切 卷五 従湧出品第十五(「藁叢」人所収) 伝後京極良経筆	岡谷家寄贈	鎌倉 13	
71	仏書切 仮名往生要集(「藁叢」人所収) 伝後京極良経筆	岡谷家寄贈	鎌倉 13	
72	続後撰集切 「ふゆのきて」(「藁叢」天所収) 伝藤原家隆筆	岡谷家寄贈	鎌倉 13	
参考	安芸切 新後撰和歌集 「みをしれば」(「藁叢」天所収) 伝久我長通筆	岡谷家寄贈	鎌倉 13	
参考	絹地切(「藁叢」天所収) 伝藤原佐理筆	岡谷家寄贈	平安 10-11	
参考	貫之集切 「たかあきに」(「藁叢」天所収) 伝藤原行成筆	岡谷家寄贈	平安 11	
参考	益田本和漢朗詠集切 「夏夜」(「玉海」所収) 伝藤原公任筆		平安 11	
参考	香紙切 麗花集 「うつろふは」(「玉海」所収) 伝藤原公任筆		平安 11	
参考	二条切 「上東門院彰子菊合序」(二十卷本類聚歌合「玉海」所収) 伝藤原俊忠筆		平安 11-12	

#### 4. 中世の宸翰

73	常盤切 伝後深草天皇筆 (「蓬左」所収)		鎌倉 13	
74	書状切(「蓬左」所収) 伝後宇多天皇筆		鎌倉 13	
75	○ 広沢切 伏見院御集 「寄舟述懐」 伏見天皇筆	勅使河原順三・千代子氏寄贈	鎌倉 13-14	
76	筑後切 拾遺和歌集残巻 「みやまきの」 伏見天皇筆		鎌倉 13-14	
77	筑後切 拾遺和歌集 「はなの木を」(「蓬左」所収) 伝伏見天皇筆		鎌倉 13	
78	歌合 残巻 「なをしはし」 後伏見天皇筆		鎌倉 14	
79	源氏狭衣歌合切 「ゆめかとよ」(「蓬左」所収)		鎌倉 13	
80	延文百首切 「うきふしは」(「蓬左」所収) 伝亀山天皇筆		南北朝 14	
81	歌切 「こよひこそ」(「蓬左」所収) 伝後円融天皇筆		南北朝 14	
82	仮名消息 後小松天皇筆		室町 14-15	
83	後奈良天皇詠草 「よるへあり」	勅使河原順三・千代子氏寄贈	室町 16	

#### 5. 古写経

84	隅寺心経 伝空海筆	勅使河原順三・千代子氏寄贈	奈良 8	
85	紺紙銀字華嚴経(二月堂焼経)	勅使河原順三・千代子氏寄贈	奈良 8	
86	紫紙金字法華経	勅使河原順三・千代子氏寄贈	奈良-平安 8	
87	○ 紺紙金銀交書烏樞瑟摩明王経(中尊寺経・清衡経) ☒	勅使河原順三・千代子氏寄贈	平安 12	
88	○ 紺紙金字十誦律(神護寺経)	勅使河原順三・千代子氏寄贈	平安 12	
89	過去現在絵因果経(勝利寺本)	勅使河原順三・千代子氏寄贈	鎌倉 14	

#### 6. 墨蹟

90	一山一寧墨蹟 唐李涉詩	勅使河原順三・千代子氏寄贈	鎌倉 14	
----	-------------	---------------	-------	--

## 【新収蔵品 勅使河原順三・千代子両氏寄贈コレクション】

徳川美術館には、尾張徳川家に伝来した古筆に加え、近年購入した作品、また篤志家から寄贈を受けた作品など数々の古筆類を収蔵しています。そしてこのたび、新たに勅使河原順三・千代子ご夫妻が生前に収集した書の名品優品のコレクション20点をご寄贈いただきました。

勅使河原順三氏は、医療法人社団順正会理事長・全日本病院協会常任理事として医療に従事され、その傍ら造詣を深められた茶の湯や仏教芸術、そしてその美意識に適う古美術品に心を寄せてこられました。また千代子夫人も日頃から茶の湯に親しみ、さまざまな茶会に足を運び、自ら茶事も頻繁に催されてきました。

ご夫妻が長年に亘り収集し慈しんでこられたコレクションを、地元の美術館で活用し、多くの人たちが日本の文化や美術の素晴らしさに触れられる機会にしてもらえればとのご夫妻のご厚志によって、このたびの運びとなりました。

ご寄贈品は「伊予切 和漢朗詠集」や「筋切 古今和歌集」「石山切 貫之集下」をはじめ「戊辰切 和漢朗詠集」「昭和切 古今和歌集」などの名だたる古筆11点、伏見天皇・後奈良天皇の宸翰、一山一寧の墨蹟、さらに「二月堂焼経（紺紙銀字華嚴経）」「中尊寺経（清衡経）」「神護寺経」などの古写経6点など、何れも勅使河原ご夫妻の高い審美眼を窺うことができる名品揃いです。

本展では、これを記念して寄贈作品全点を初公開し、勅使河原ご夫妻のご篤志に深甚の敬意を表したいと存じます。

### 勅使河原順三・千代子両氏寄贈作品一覧（再掲）

展示番号	指定・作品名称・作者
12	伊予切 和漢朗詠集「仙家」 伝藤原行成筆
25	伊丹切 寛平御時后宮歌合「ほととぎす」（二十巻本類聚歌合） 伝藤原俊忠筆
26	柏木切 応和二年五月四日庚申内裏歌合「みつのおもに」（二十巻本類聚歌合） 伝藤原俊忠筆
34	通切 古今和歌集「飽さりし」 藤原定実筆
37	○石山切 貫之集下「ことしけき」 藤原定信筆
39	戊辰切 和漢朗詠集「菊」 藤原伊行筆
40	戊辰切 和漢朗詠集「帰雁」 藤原伊行筆
41	戊辰切 和漢朗詠集「初冬」 藤原伊行筆
52	昭和切 古今和歌集「としのうちに」 藤原俊成筆
55	唐紙拾遺和歌集切「東路の」 伝源俊頼筆
67	藤原定家和歌色紙「大井川行幸」
75	○広沢切 伏見院御集「寄舟述懐」 伏見天皇筆
83	後奈良天皇詠草「よるへあり」
84	隅寺心経 伝空海筆
85	紺紙銀字華嚴経（二月堂焼経）
86	紫紙金字法華経
87	○紺紙金銀交書烏樞瑟摩明王経（中尊寺経・清衡経）
88	○紺紙金字十誦律（神護寺経）
89	過去現在絵因果経（勝利寺本）
90	一山一寧墨蹟 唐李涉詩